

## 折々の言葉 その3、2019年 (梅津寿一編)

- \* 貧困とは、身体を維持する最低限の食事をとれないことだけではなく、知性や人格の発達に必要なものを得られないこと。  
河上肇「貧乏物語」1916年 (2017.06.14)
- \* 弱者と強者は平等であり、強者は弱者をなめてはいけない——ホップス  
豊永郁子、(朝日新聞 2018. 11)
- \* 嘘は現実よりも理解しやすく魅力を持つことが多い。なぜなら、嘘をつく人は公衆が聞きたいと望むことを、前もって知っているからである。  
ハンナ・アーレント「政治における嘘」 (2018.12.27)
- \* 言論の自由には、故意に偽りを述べる自由が含まれているかも知れないが、同時にその偽りを暴く自由も含まれる——ディヴィッド・ヘア  
デボラ・リップシュタット「肯定と否定」 (2018.12.18)
- \* 誰もが自分の意見を述べる権利を持っていると主張するのは民主的なことのように思われる。しかし、全ての意見に同等の価値があると主張するのは致命的な過ちだ。事実裏打ちされた意見もあれば、そうでない意見もある——ディヴィッド・ヘア  
デボラ・リップシュタット「肯定と否定」 (2018.12.18)
- \* すべての人は、平等に自らの言行の自由を謳歌できるわけではない。社会の下層に生きる人ならば、怒りに駆られて感情に走ったとしても許されるだろう。だが、社会の上層に生きる人ならば、自らの行動に弁解は許されない。ゆえに上に行けば行くほど、言行の自由は制限されることになる——  
ジュリアス・シーザー (ノーブレス・オブリージュについて)  
塩野七生「想いの軌跡」 (2019.01.16)
- \* うまく使えた一日の後には安らかなの眠りが来るのに似て、うまく使った一生の後には静かな死が訪れる——レオナルド・ダヴィンチ、*Pace con se stesso*. (自分との間の平和)  
塩野七生「ギリシャ人の物語 II」 (2019.02.03)
- \* いいは悪いで、悪いはいい (Fair is foul, and foul is fair.) ——  
シェークスピア「マクベス、1幕1場」、魔女三人の言葉 (2019.02.20)

- \* 一日に一頁も本を読まない人間はケダモノと同じだ——藤原咲平  
藤原乙彦「国家と教養」 (2019.02.20)
- \* 本のない部屋は、魂のない肉体のようなものだ——キケロ  
藤原乙彦「国家と教養」 (2019.02.20)
- \* 国民は自らに値する政府しか持てない——トーマス・カーライル  
「選択 2019, 3月号」現代史の言霊 (2019.03.16)
- \* 賢明かつ粘り強く宣伝をすれば、国民には天国をさえ地獄としてみせることができるし、最も不幸な生活も楽園として描いてみせることができる——ヒトラー (Mein Kampf)  
E.H.カー「危機の20年」 (2019.03.27)
- \* ばさばさに乾いてゆく心を  
ひとのせいにはするな  
みずから水やりを怠っておいて  
(省略)  
駄目なことの一切を  
時代のせいにはするな  
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい  
自分で守れ  
ばかものよ ——茨木のり子「自分の感受性くらい」(部分) (2019.06.19)
- \* 無知と無関心が偏見と差別を生む。  
——ハンセン病家族訴訟原告団長・林力さん、  
熊本地裁における「訴訟終結」時のことば (2019.07.12)
- \* 権力に対する人間の闘いとは、忘却に対する記憶の闘いである——ミラン・クンデラ  
ナオミ・クライン「NOでは足りない」 (2019.08.18)
- \* 過去はほおっておいても後続世代に継承されるというものではなく、積極的に意味あるものとして伝えてこそ受け入れられる——ティモシー・アッシュプラント (歴史家)  
橋本明子「日本の長い戦後」 (2019.09.16)

- \* 口に入るものは人を汚さない。口から出るものこそ人を汚すのである——聖書  
朝日新聞 (2019.08.28) ことばスムージー、川添愛
- \* 祈ろうが 祈るまいが 神は存在する (Vocatus atque non vocatus deus aderit.)  
「デルポイ神の答え」 ユングの家に彫り付けられた言葉
- \* 植物は栽培によって作られ、人間は教育によってつくられる。  
——ジャン・ジャック・ルッソー 「エミール」
- \* 我々は両親を選ぶことはできないが、過去に生きた賢人の弟子になろうと思えば、い  
くらでもなることができる。しかも、自分の裁量で自由に選ぶことができる。  
——セネカ 「人生の短さについて」

### 折々の短歌

- \* あなたは 勝ったものとおもってみましたか と  
老いたる妻の さびしげにいふ 土岐善磨「夏草」
- \* 原爆を知れるは 広島と長崎にて  
日本といふ 国にはあらず 歌人 竹山 広
- \* ひきよせて むすべば柴の 庵にて  
とくればもとの 野はらなりけり——慈円、天台座主  
——諸法無我のころ、 鎌田茂雄「仏陀の観たもの」(2015.10.28)
- \* 世の中の 娘は嫁と 花咲きて  
嬢としぼんで 婆婆と散り行く——読み人しらず  
——諸行無常偈の変形、 鎌田茂雄「仏陀の観たもの」(2015.10.30)

(2019.11.07) 梅津寿一記